神奈川文化プログラム MAG CUL マグカル かながわ県民文化祭

芸術文化振興基金助成事業

令和八年度

後継者育成発表会

小田原民俗芸能保存協会

特別出演…お峯入り保存会

ODAWARAえっさホイおどり実行委員会



令和8年11月8日(日)

開場12時／開演12時20分（終演16時予定）

小田原三の丸ホール 大ホール

（小田原市本町1-7-50）

入場無料
事前申込不要

主催　小田原民俗芸能保存協会

後援　神奈川県民俗芸能保存協会、神奈川県教育委員会、小田原市
小田原市教育委員会、山北町、山北町教育委員会、小田原市自治会総連合
一般社団法人小田原市観光協会

【出演団体】※出演順／（カッコ）内は出演予定時刻

小田原市山王原大漁木遣唄保存会（12:30）
小田原祭囃子連絡協議会（12:46）
（曽我岸祭ばやし保存会）
根府川寺山神社鹿島踊保存会（13:04）
曽我別所寿獅子舞保存会（13:27）
小田原ちょうちん踊保存会（13:46）
栢山田植歌保存会〔映像出演〕（14:10）
お峯入り保存会【特別出演】（14:20）
ODAWARA えっさホイおどり
実行委員会【特別出演】（14:56）
小田原囃子多古保存会（15:03）
相模人形芝居下中座（15:22）

お問い合わせ　小田原市文化財課 TEL 0465-33-1717

令和八年度　小田原民俗芸能保存協会

後継者育成発表会

出演団体の紹介

小田原市山王原大漁木遣唄保存会

出演予定時刻 12:30

山王原大漁木遣唄は名称は木遣唄ですが、大工等が唄う木遣唄とは異なり、元は漁師が網を引き揚げる際、呼吸を合わせるために唄っていた労働唄であり、歌詞には「大漁木遣唄」と「神社仏閣数え唄」の二系統があります。
保存会として小田原市東町一丁目～三丁目及び浜町四丁目等で伝承されており、現在は同地域の鎮守である山王神社の祭礼時を中心に市内の祝祭事で披露されています。
（小田原市指定無形民俗文化財）

小田原祭囃子連絡協議会（曽我岸祭ばやし保存会）

出演予定時刻 12:46

曽我岸祭ばやし保存会は、江戸時代より伝わる曽我囃子が下曽我に伝わり、昭和22年頃に岸地区の青年団によって立ち上げられ、現在まで受け継がれています。曲目は、「囃子」「昇殿」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」があり、9月末の天津・宗我神社例大祭では山車で地区内を巡行し、祭りを盛り上げています。
現在は、小学生から20代を中心に、地域の伝統文化に親しみ、興味をもってもらえるように指導しています。祭囃子を楽しみながら技術を身に付けることを大切にし、次世代へ大切な伝統をつないでいけるよう、継承を意識した活動に取り組んでいます。

根府川寺山神社鹿島踊保存会

出演予定時刻 13:04

根府川地区の郷土芸能である鹿島踊と福踊を継承し、後継者を育成・指導していくことを目的に活動しています。
鹿島踊は唄と踊り（三役）が難しいため、定期練習日を設定し基本を確認しながら進めています。具体的な活動としては、毎年7月中旬の土・日曜日の寺山神社祭礼にて鹿島踊を奉納し、また、1月に実施する道祖神祭りに福踊を子ども達だけで踊ります。
（鹿島踊は神奈川県指定無形民俗文化財）

曽我別所寿獅子舞保存会

出演予定時刻 13:27

『鳴物がお囃子をリズミカルに奏でる中、獅子が勇壮に舞い、時にはコミカルな仕草を見せ、笑い面とヒョットコによるユニークな仕草に笑いも誘う』。このような獅子舞が“曽我別所寿獅子舞”です。私ども保存会は、昭和25年に結成されました。今年度は、4年前に結成されました7組が出演いたします。
（小田原市指定無形民俗文化財）

お峯入り保存会〔特別出演〕

出演予定時刻 14:20

山北町共和地区に古くから伝わる民俗芸能です。
「お峰入り」とは山中で修業を行うことを意味し、修験道の儀礼が芸能化したものと考えられています。また、南北朝時代に宗良親王が河村城に難を逃れた時から始まったという伝承もあり、笛・太鼓の調べや歌詞は万葉の時代を感じさせます。
演技は、8種類11演目あり、天狗・獅子・おかめ・山伏・太鼓・笛などの役を約80名の男性が演じます。歌や踊りはすべて口伝えで伝承され、約700年の歴史と文久3年に公演してから21回を数え、160年に及ぶお祭りであります。
近年では5年毎に公演を予定しており、次回公演は令和10年10月を計画しておりますので、来場をお待ち申し上げます。
（国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産）

小田原ちょうちん踊保存会

出演予定時刻 13:46

お猿のかごやで馴染みの「小田原ちょうちん」。このちょうちんを後世に残したいとの思いから、ちょうちんを持って踊ることを考案し、現在に至っています。
この形状のちょうちんは、どこで作成しても、小田原ちょうちんと言われ、小田原の宝物と感じて、踊り続けています。

栢山田植歌保存会〔映像出演〕

出演予定時刻 14:10

栢山田植歌は、田植えをする女性達が、疲れた時に田植えの調子を取るために歌ったものです。歌詞には、農作業の様子や栢山の風景、鶴や亀のめでたい動物が詠みこまれ、豊作の祈りが込められています。現在、手作業での田植えがほとんどなくなり、田植歌も歌われなくなりましたが、有志により会を結成し、歌い続けています。

小田原囃子多古保存会

出演予定時刻 15:03

小田原囃子の源流は江戸葛西囃子、江戸時代中期に寺町にあった「桐座」で芸人が演奏した葛西囃子を地元の青年衆が習ったものと言われています。曲目は「屋台」「昇殿」「神田丸」「鎌倉」「仕丁目」の5曲があり、基本は祭り本来の明るく勢いのある曲調ですが、哀愁ただよう情緒やどこか懐かしさを感じさせる風情のある旋律となっています。
（神奈川県指定無形民俗文化財）

相模人形芝居下中座

出演予定時刻 15:22

下中座は江戸時代より小田原市小竹地区に伝わる三人遣いの人形座です。明治末から昭和初期にかけて東京の人形遣い夫婦が小竹に定住し、東京の人形操法を伝えました。そのため東京の人形浄瑠璃の面影を伝えるとして高い評価を受け、昭和28年に県無形文化財に指定され、当時の村名から下中座と命名されました。さらに昭和55年には国の重要無形民俗文化財に指定され、活発な活動を続けています。
下中座は、地域の小・中・高校で授業や部活動で伝承活動を長年続けています。卒業後に入座する者も多く、後継者育成の大きな柱となっています。
本発表会では、下中小学校下中座クラブによる人形解説と、橘中学校相模人形クラブによる『坂田金時　怪童丸物語　足柄山の段』をご覧に入れます。
（国指定重要無形民俗文化財）

ODAWARAえっさホイおどり実行委員会〔特別出演〕

出演予定時刻 14:56

「ODAWARAえっさホイおどり」は、平成11年（1999年）、小田原市の依頼を受けた小田原商工会議所青年部（当時）が「街が元気になるような踊りの祭りを作ろう」を合言葉に誕生させた、よさこい系の踊り祭りです。
高知のよさこい祭りや札幌YOSAKOIソーラン祭りを源流とし、小田原ゆかりの童謡「おさるのかごや」や「小田原ちょうちん」といった地域色を盛り込み、鳴子ならぬ「猿子」を手に踊るのが特徴です。
毎年秋、小田原三の丸ホールや銅門広場、ミナカ小田原金次郎広場、お堀端通りなど市内各所を会場に、市内外から集うチームが華やかな演舞を披露しております。